
小説ベルサイユのばら

第二話

麻由美

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

小説ベルサイユのばら

第二話

【Nコード】

N3596C

【作者名】

麻由美

【あらすじ】

前回に引き続きこれから3人の成長について書きたいと思う。
（フェルゼンはまだ少し後に登場）楽しみにしてほしい。

ベルサイユのばら小説 第二話（前書き）

前回に引き続き、3人の成長を書いた小説。これからどんなストーリーになっていくのか楽しみにしてください！

ベルサイユのばら小説 第二話

オスカルは14歳という若さでフランスの近衛隊長になった。それは父親に剣を教え込まれていたからである。

オスカルは小さい頃、自分のことを本気で男だと信じていた。小さい頃はアンドレと剣の特訓をしていた。

貴族のオスカルと平民のアンドレ。アンドレはなぜか平民なのにベルサイユ宮殿への出入りを許可されている。

オスカルは常にベルサイユ宮殿のどこかにいてアントワネットの身を常に見守っている。アントワネットが勉強をさぼったりしたところかへ行ったりしたら必ずどこかにいる。オスカルはそんな存在だ。

オスカルのことを書きすぎてしまった。次はアンドレのことについて書きたいと思う。アンドレは、小さい頃からオスカルの剣の相手をしている。アンドレはフランス近衛隊には入らず、オスカルの後をついて行く。アンドレはオスカルの家に雇われている乳母のマロン・グラッセと家にいたり、いなかったり…。

次はアントワネットのことについて書きたいと思う。

アントワネットは14歳までオーストリアで生活していた。だが突然フランスの王妃を任せられた。2歳年上のルイ16世と無理矢理に結婚をさせられた。アントワネットの旦那、ルイ16世の趣味はというと鍵作りばかり。

アントワネットは寂しさに耐えていたのだ…。

そして、一人となり…。そんなところへある人がやってきた。名はポリニャック。

詳しいことはまた後で説明したいと思う。

オスカルしか相手がいない…。

召使いたちか、貴婦人たちとしかお話しできないのだ。かわいそうだと思う。

ベルサイユのばら小説 第二話（後書き）

遅れましたが、個の小説は、アニメと、原作を混ぜて投稿したいと思います。

これからの3人の成長に乞うご期待を！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3596c/>

小説ベルサイユのばら 第二話

2010年11月14日00時22分発行